

ユーザーミーティング開催 建設DXの取り組み学ぶ MCデータプラス

MCデータプラス(渋谷区)は17日、「建設サイト・シリーズ ユーザーミーティング2022」をオンラインで開催した。グリーンサイトの利用者など約200人が参加し、ゼネコンやハウスメーカーの建設DXの取り組みについて学んだ。

飯田正生社長(写真)は、「作業間連絡調整サービスのワークサイトを、建設業界の標準装備としたい。また、グリーンサイトなどで集積したデータを連携することで、DXや業務効率化に貢献したい」とあいさつした。

大和ハウス工業の河野宏上席執行役員技術統括



本部副本部長は、「デジタル構想とグリーンサイトのデータ連携について解説。

「現場管理の無人化では、まずは平常時での無人化を定義するレベル3を目指し、「ICTデジ

タル技術が進化する中で、人も技術も常にアップデートすることが重要だ」と説いた。

清水建設の今井敬建築総本部建築企画室技術企画部長は、「デジタルゼネコンと建設サイト・シリーズ」をテーマに解説した。